

令和元年村上市教育委員会 8月定例会会議録

○ 日 時

令和元年 8月 27日 (火) 午後 3時 30分 開会

○ 場 所

村上市役所朝日支所 2階 第1会議室

○ 出席委員

遠 藤 友 春 教育長  
横 山 吉 夫 委員 (教育長職務代理者)  
本 凶 元 子 委員  
大 滝 豊 委員  
板 垣 英 樹 委員

○ 欠席委員

なし

○ 出席した事務局職員

学校教育課長	菅 原 明
生涯学習課長	板 垣 敏 幸
学校教育課 管理主事	平 良 徳
〃 指導主事	五十嵐 めぐみ
〃 指導主事	磯 部 睦
〃 教育総務室長	船 山 幸 文
生涯学習課 社会教育推進室長	太 田 秀 哉
〃 教育情報センター長	大 倉 佳 代
村上教育事務所長	五十嵐 忠 幸
荒川教育事務所長	土 田 孝
山北教育事務所長	渡 辺 律 子

○ 欠席した事務局職員

生涯学習課 課長補佐	加 藤 涉
〃 スポーツ推進室長	永 田 満
〃 文化行政推進室長	吉 井 雅 勇
神林教育事務所長	田 村 富 夫
朝日教育事務所長	百 武 靖 之

○ 書 記

学校教育課 教育総務室長 船 山 幸 文

○ 会議に付した議件等

- ・ 会議録署名委員の指名について
- ・ 7月定例会会議録の確認について
- ・ 報第5号 一般報告事項について
- ・ 議第20号 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長 午後3時30分開会宣言

遠藤教育長 ただいまより令和元年8月定例会を開会します。

遠藤教育長 はじめに、私から二つお話しさせていただきます。一つ目は、全国学力・学習状況調査結果の公表についてです。本日の追加議案で担当が詳しく説明いたしますが、小学校では国語、中学校では数学が全国平均を大きく上回りました。逆に、小学校の算数、中学校の英語で全国平均をやや下回る状況でしたが、学力面では、小学校、中学校ともにおおむね良好な成果を上げているのではないかと捉えているところです。授業づくりハンドブックを活用した研修、指導主事が赴いて授業づくりに携わっていること、それから非常勤講師等の配置、英検の検定料補助などの施策の効果が表れているのではないかと理解しているところです。二つ目は、スポーツでの活躍です。先の県大会で、村上第一中学校サッカー部が優勝を果たしました。北信越大会では、同じ県内のチームに敗れてしまいましたが、見事な頑張りだったと思います。また、荒川中学校の渡辺選手が全国中学校体育大会陸上砲丸投で準優勝することができました。本当に良かったと思います。そして、8月24日、25日には、本市の姉妹都市であり、災害協定も結んでいる福井県鯖江市とのスポーツ交流がございました。今年は、鯖江市の皆さんにお越しいただき、空手道の交流を行いました。小学校1年生から高校3年生までの児童生徒が、形や組手で力強さを発揮してくれました。部活動に関しては、単に楽しめれば良いという参加の仕方もありますが、高い目標を掲げての日頃の取組にも意味があるのだと思います。渡辺選手は、新発田市に赴き、部活動にプラスした練習をしていたそうです。そういう努力が実ったことは、大変立派なことだと思

います。それぞれの目標を持ちながら、勉強にもスポーツにも頑張る本市の子どもたちであってほしいと思います。本日はよろしく願いいたします。

・会議録署名委員の指名について

遠藤教育長            それでは、会議録署名委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

遠藤教育長            会議録署名委員は、本岡委員と板垣委員にお願いします。

・7月定例会会議録の確認について

遠藤教育長            7月定例会会議録について確認します。各委員には自分の発言が漏れていないか、表現が違わないか確認していただきます。学校教育課長報告をお願いします。

学校教育課長            会議録の概要について説明する。

遠藤教育長            7月定例会会議録について何かございますか。  
(質問等なし)  
7月定例会会議録は確認されました。

・報第5号 一般報告事項について

遠藤教育長            報第5号について上程します。

最初に私から、一般報告事項を報告させていただきます。

7月25日、定例教育委員会がございました。29日、平林・砂山小学校統合推進委員会に出席しました。30日、第1回文化財保護審議会に出席しました。31日、市議会本会議の最終日でした。8月2日、市校長会議。6日、郷育オープンセッション。8日、山北地区学校給食第3回臨時保護者説明会、国民文化祭市実行委員会第2回総会に出席しました。8月15日、成人式、第33回大須戸能「薪能」に参加しました。22日、村上市岩船郡私の主張大会に出席しました。委員の皆様

もご出席いただき、ありがとうございました。24日、鯖江市との交流会に出席しました。本日27日、総合教育会議、定例教育委員会を開催させていただいております。以上、報告させていただきました。

- 学校教育課長            学校教育課の一般報告事項等について報告する。
- 社会教育推進室長        社会教育推進室の一般報告事項等について報告する。
- 生涯学習課長            スポーツ推進室の一般報告事項等について報告する。
- 生涯学習課長            文化行政推進室の一般報告事項等について報告する。
- 教育情報センター長      教育情報センターの一般報告事項等について報告する。
- 遠藤教育長              それでは、学校教育課、生涯学習課の報告事項について質疑等がありましたらお願いします。
- 遠藤教育長              私から一つ。夏休み期間中のスケートパークの利用についてですが、利用状況をどのように捉えていますか。
- 生涯学習課長            夏休み期間中は、子どもたちの利用がかなり増えるだろうと予測しておりましたが、予想どおり多くの方がいらっしゃいました。市外のお子さんの利用や帰省での利用、観光で来ているという方の利用が多かったとの報告を受けております。スケートパークは経験者の利用が多かったですし、ボルダリングはどなたでもできるものですので、いろいろな方が利用されていたとの報告を受けております。8月末の集計では、想定を上回っている状況であります。
- 本図委員                まだ山北体育館の工事に着手していないようですが、どのような予定になっていますか。
- 生涯学習課長            明後日、8月29日に国土交通省の災害査定が行われます。その査定を受け、工事費、復旧箇所が確定してからとなります。現在の予定では、総合体育館の内部につきましては、約2か月から2か月半の工期を見込んでおり、年内には利用を再開したいと考えております。また、駐車場の法面崩落箇所につきましても、同様に8月29日に災害査定を受け、その後発注という形になりますが、こちらは3か月から4か月

程度の工期を見込んでおります。冬期間であり、また屋外ということもありますので、年度内の完成を予定しております。体育館内部につきましては、現在利用を休止している状況で、ほかの施設を利用いただいておりますが、2階の柔剣道場、ミーティングルームだけでも使えないかというご相談を受けておりますので、今後工事を発注しましたら、工程を調整できないか等について協議したいと考えております。

板垣委員 急に予定が入ったりして、欠席したい場合には、どこに連絡をすればよいでしょうか。

学校教育課長 ご連絡いただければ、対応させていただきます。

遠藤教育長 無断で休まれるということがなければ、急でも構いませんので、お知らせください。

遠藤教育長 それでは一般報告事項は了承されました。

・議第 20 号 平成 31 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長 次に追加議案として、議第 20 号について上程します。説明をお願いいたします。

五十嵐指導主事 本件についてご承認いただきましたら、配布した資料を市のホームページに掲載し、公表いたします。

平成 31 年度調査及び結果公表における変更点についてご説明します。中学校において、新たに英語の調査が加わりました。国語、算数・数学につきましては、主に知識を問う A 問題と思考力を問う B 問題とに分けて実施していましたが、今年度からは知識と思考力を一体的に問う問題に統一されております。また、県、市の平均は小数点以下第一位を四捨五入した数値のみを公表することとなりましたので、全国平均との差は示さないこととしました。

はじめに、平成 31 年度調査の平均正答率についてです。小学校の概要ですが、国語は全国平均を大きく上回りました。正答率分布は、上位層が多くなっております。算数は全国平均をやや下回っており、分布は中位層が多いという状況です。国語の記述式問題の正答率は全国平均を大きく上回っておりますが、算数の記述式問題の正答率は全国

平均を下回っております。このことは、これまでも課題となっておりましたので、継続して改善に向けて取り組んでいく必要があります。次に、中学校の概要についてです。国語は全国平均を上回りました。正答率分布は全国平均とほぼ同じです。数学は全国平均を大きく上回りました。全ての領域で、ほぼ同等に上回っております。分布も上位層が多くなっております。英語につきましては、全国平均をやや下回りました。領域別では、「書く」の領域が一番下回っております。正答数分布は中位層が多くなっております。国語、数学ともに、記述式問題の正答率が全国平均を上回っています。数学におきましては、記述式問題全てにおいて、全国平均を大きく上回っております。このことは、平成 27 年度から行っている数学プロジェクトの成果であると考えられます。以上のことから、取り組むべき課題 1 として、「小学校算数における記述量の向上。中学校英語における書く力の向上。」を設定しました。

続きまして、学校別平均正答率についてです。小学校は、国語と算数を合わせた教科に関する調査の平均正答率の合計において、全 16 校中 11 校が全国以上でした。全国平均を 10 ポイント以上上回った学校が 7 校、5 ポイント以上上回った学校が 3 校、10 ポイント以上下回った学校が 1 校でした。また、正答率が最も高い学校と最も低い学校との差は 43 ポイントでした。中学校は、教科に関する調査の平均正答率の合計において、全 7 校中 4 校が全国以上でした。全国平均を 10 ポイント以上上回った学校が 1 校、5 ポイント以上上回った学校が 1 校、10 ポイント以上下回った学校が 1 校でした。正答率が最も高い学校と最も低い学校との差は 24 ポイントでした。以上のことから、今後取り組むべき課題 2 として、「学校間差の解消」を設定しました。学校間の差につきましては、今年度から問題の形式が変わっておりますので、数値による単純な比較はできませんが、依然として学校間の差があることは、市の課題であると言えます。村上市としましては、学校間の差をなくしていく取組として、平成 30 年度に村上市の授業づくりハンドブックを作成、配布し、そこに示された市のスタンダードに基づいた授業が行われるよう、指導主事が分担して学校を訪問し、管理職以外の全教員の授業をしっかりと見て指導するということを、昨年度と今年度の 2 年間かけて、全ての学校において行っています。今後も継続して、教員や学校の授業による差をなくしていくことが必要だと考えております。

次に、家庭学習についてです。これは、質問紙の結果を基にしております。小学校、中学校ともに、自分で計画を立てて家庭学習をして

いる子どもの割合が全国に比べてかなり高いです。経年で見ても、年々向上しています。これまで中学校区ごとに取り組んできた家庭学習習慣を身に付けさせる工夫や、学校ごとに行っているプランニングタイムなどの取組が大きな成果を上げていると考えられます。しかし、中学校での2時間以上家庭学習をしている割合が、全国と比べるとかなり低いという結果がございます。以上のことから、今後取り組むべき課題3として、「家庭学習内容の改善〈小〉家庭学習時間の増加と内容の改善〈中〉」を設定しました。

最後に、これらの課題を受けた今後の取組についてです。課題1、課題2の解決に向けて、村上市の授業づくりハンドブックを活用した授業改善を、更に推進します。特に、「対話的な活動」と「振り返り」の充実を図っていきます。小学校の算数、中学校の英語については、国や県から授業改善資料が示されておりますので、それらを提供したり、紹介したりして活用を図りつつ、校内研修を推進し、各校における授業改善が進むように働きかけていきます。英語につきましては、英検の検定料補助や、市の外国語指導助手による指導補助等によって、中学生の英検受験率が向上するように働きかけます。次に、課題3の解決に向けてです。終学活等で、その日の家庭学習の計画を立てるプランニングタイムを実施したり、中学校区において家庭学習習慣やメディアコントロールの取組を行ってまいりましたが、今後も継続し、推進してまいります。そして、小学校における家庭学習の質的向上、中学校における家庭学習の量的、質的向上を促してまいります。小学校では学年×10分以上、中学校では学年×1時間以上という目安がありますが、それらが形式的なものにならないように、家庭学習の目的、内容、進め方等について、児童生徒と共に見直しを図るように働きかけます。さらに、教科書を使った予習、復習を今後も積極的に推進します。今後も、全児童生徒を対象とした「家庭学習実施状況調査」を実施し、改善策について検討してまいります。以上で説明を終わります。

遠藤教育長

何かご質問等ありましたらお願いいたします。感想でも結構です。

横山委員

何年か前に比べますと、少しずつではありますが、数値的な結果が良くなっているということが目に見え、指導している現場では頑張っているということがよく分かりました。中学校では、頑張っている割には、数的に厳しいところがあります。家庭学習については、2時間以上家庭で勉強している子どもが少ないというのが気になります。その解決が大きいのではないかという気がします。小学校では、家

庭学習カードを使ったり、低学年のころから方策を考えていろいろとされています。中学生がどのような形で家庭学習をしているのかを把握していませんが、ただ宿題をこなしているようでは、なかなか学力向上には結び付かないのではないかと思います。全国一位の秋田県のことを紹介したテレビ番組を見たことがあるのですが、家でも喜んで勉強しています。家で本気で取り組まないと、なかなか追いつかないという気がします。都会では、塾に通い、学力向上のために学校以上のことをしていますが、秋田県では、皆が塾に通っているという実態ではないようです。生徒が意欲的に取り組むようにするための、今後の方策について教えていただきたいのですが。

磯部指導主事

村上市では、平成 29 年度には家庭での学習時間が 1 時間以上の割合は 66.4 パーセントでしたが、だんだん向上して 80 パーセント近くになっています。終学活で、その日に家庭で行う学習を決めるプランニングタイムを充実させるなどして、見通しを持って家庭に入っています。それにより、家庭学習の時間が増えています。こうした取組の精度を上げて、家庭学習の取組の意義をしっかりと見出していけるような目標設定や詳しいメニューについて、中学校に働きかけていく予定です。

横山委員

はい、わかりました。

遠藤教育長

小学校については、おおむね同じような傾向で、よく頑張っていると思います。中学校については、波があるように思います。何か理由があるのでしょうか。

磯部指導主事

大きな流れでは上がってきており、それほど乱高下している感じではありません。数学プロジェクトがスタートした当時は、数学担当者が月 2 回くらい集まり、授業を見合ったり、いろいろな問題の分析をしたりしました。規模は縮小していますが、今も続けています。そういうことによって、授業担当者の意識が変わり、授業も変わっていると思います。

横山委員

学校間差について、小学校の 43 ポイントというのが気になったのですが。

磯部指導主事

一番上位の学校と一番下位の学校の、国語と算数の合計の差です。

横山委員 国語だけ、算数だけということではないのですね。分かりました。

遠藤教育長 それでは、議第 20 号について承認されます方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

ありがとうございました。議第 20 号は承認されました。

遠藤教育長 予定された議案については全て審議終了しましたが、その他ありますでしょうか。

遠藤教育長 次回の定例会の予定について説明をお願いします。

学校教育課長 9月定例会ですが、9月24日火曜日午前9時30分から、朝日支所2階第一会議室にてお願いしたいと思います。

10月定例会につきましては、23日(水)に行いたいと思います。よろしくをお願いします。

遠藤教育長 各委員に確認し、全員了承する。

遠藤教育長 以上をもちまして、令和元年村上市教育委員会8月定例会を終了します。

午後4時24分閉会

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

教 育 長 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 \_\_\_\_\_